

平成30年度 SNSを活用した教育相談事業について

「千葉市LINE相談」の取組

千葉市教育委員会学校教育部教育支援課

千葉市では、SNSを活用した教育相談のモデル事業として、LINEアプリを利用した教育相談窓口を10月26日から1月31日まで開設した。

1 趣旨・目的

一人でも多くの子どもたちの「相談したい」という気持ちを汲み取るために、文部科学省の「SNSを活用した相談体制の構築事業」を活用し、子どもたちにとって身近な通信手段であるSNSを活用した教育相談体制を構築し、相談に係る多様な選択肢を用意することにより、いじめや不登校等の未然防止や早期発見、生徒指導上の諸問題の深刻化を防止する。

2 事業概要

(1) 相談受付期間・相談受付時間

平成30年10月26日（金）～平成31年1月31日（木）（年末年始は除く）

平日、土日ともに、17:00～21:00まで

(2) 対象者

千葉市立学校の中高生（約25,700人のうち希望者）

中学校：市内の市立中学校55校、全生徒約23,400人。

特別支援学校：市内養護学校1校、全生徒約200人。高等特別支援学校1校、全生徒約100人。

高等学校：市立高等学校2校、全生徒約2,000人。

(3) 相談方法

①QRコードの印刷されたカードを配布し、そのQRコードをスマートフォン等で読み取って、「千葉市LINE相談」を「友だち追加」する。

②相談時間中に、「千葉市LINE相談」に「トーク」でメッセージを送ると、臨床心理士等の専門の相談員が相談に応える。

3 成果

(1) 友だち登録数

◇友だち数

10月26日 225人

→ 1月31日 1,028人

(登録率 4.00%)

◇有効友だち数

10月26日 270人

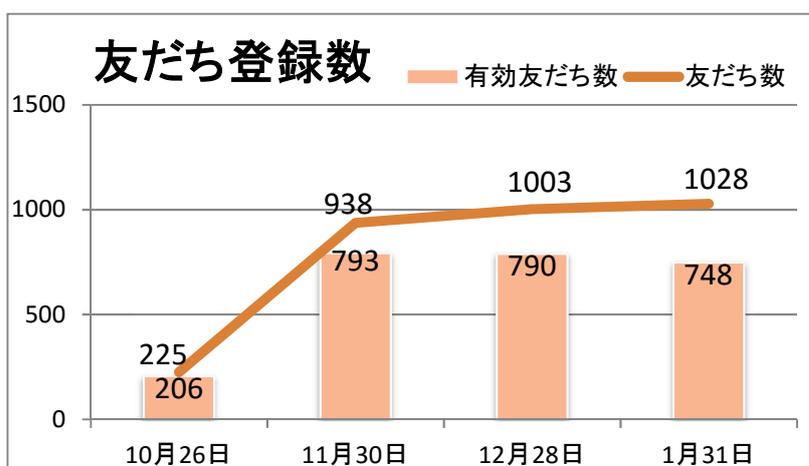
→ 1月31日 1,028人

(登録率 2.91%)

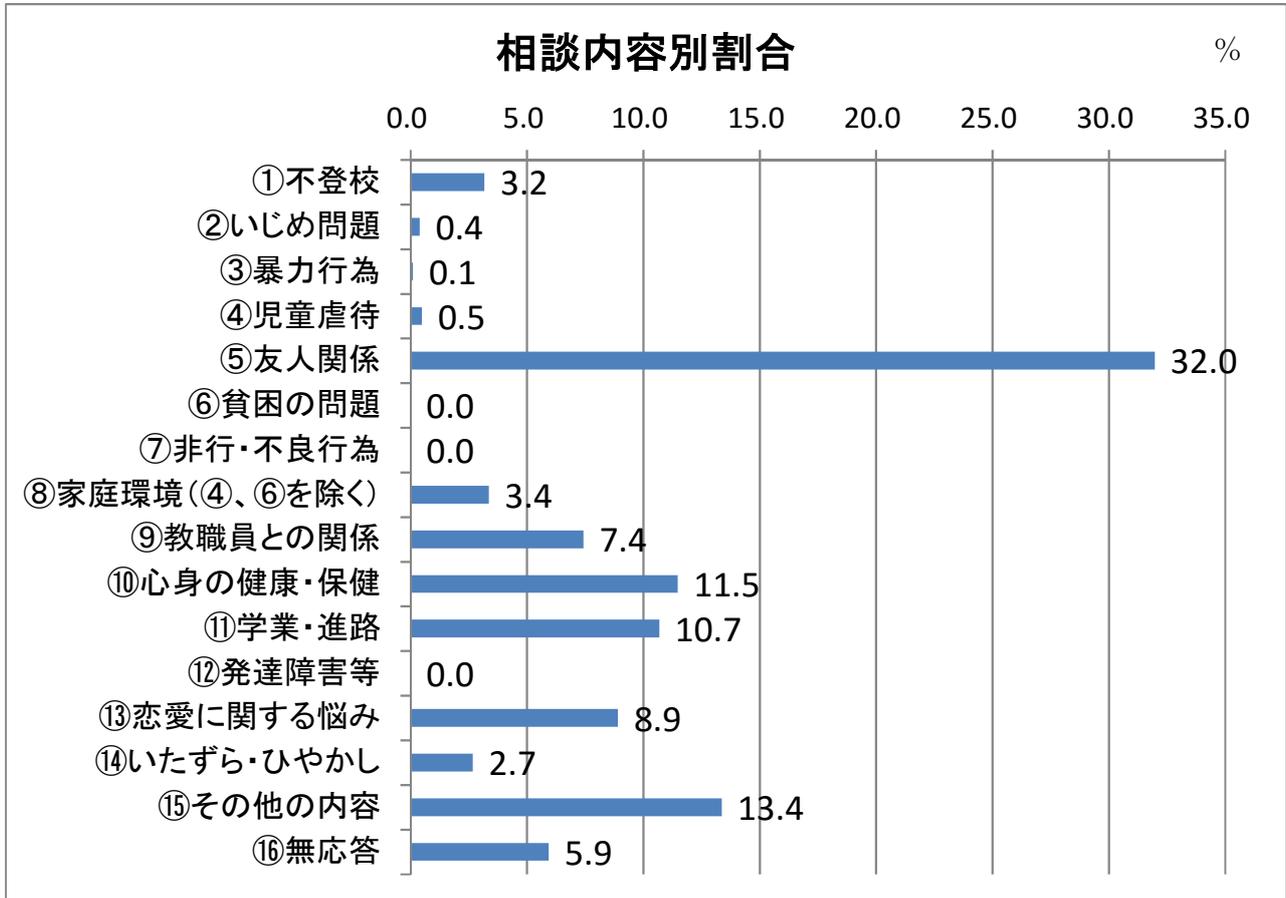
※「登録者数」は延べ数、
「有効登録者数」はブロック
や友だち解除を除いた数

・登録率が4%（有効登録者でも約3%）は、他の自治体に比べ高い数値である。

「千葉市LINE相談」が、相談窓口の一つとして、広く認知されたと考える。



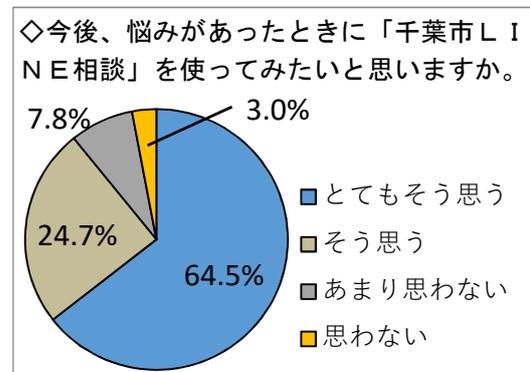
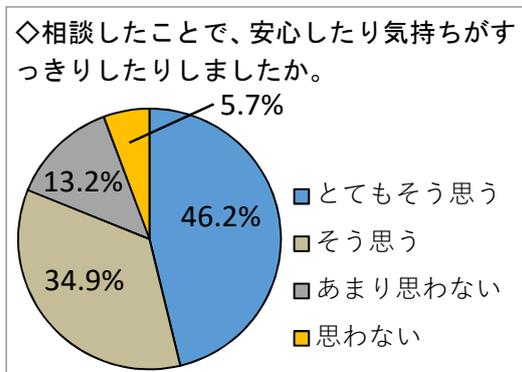
- (2) 相談件数 : 1010 件 (1 日平均 11.0 件 最多は、相談窓口開設初日の 41 件)
- ・相談内容別件数の傾向は、「友人関係」(32.0%)、「心身の健康・保健」(11.5%)、「学業・進路」(10.7%)、「恋愛に関する悩み」(8.9%)、「教職員との関係」(7.4%) である。「不登校」(3.2%)、「いじめ問題」(0.4%) の相談は、あまり多くなかった。
 - ・相談件数は、対象者数や窓口開設期間が違うため、他の自治体との単純な比較は難しい。



(3) 「千葉市 LINE 相談」登録者へのアンケートの結果

- ◇アンケート調査期間 2019 年 2 月 1 日 (金) ~ 2 月 9 日 (土)
- ◇アンケート回答者 166 人 (有効登録者数 748 人中)
- ◇調査方法

「千葉市 LINE 相談」終了後、アンケートを依頼するメッセージを発信。そのメッセージに、アンケート画面へのリンクを貼り、登録者が直接、回答内容を入力する形式でアンケート調査を行った。



4 次年度への展望

次年度もモデル事業として実施するにあたり、「千葉市 LINE 相談」が相談窓口の一つとして認知されたことを活かし、1年間を通して子どもたちの悩みに寄り添える環境を提供したいと考えている。

そこで、次年度は5月~3月まで、週2日で相談窓口を開設する予定である。